

令和2年第13回定例会

つがる市議会会議録

予算特別委員会

令和2年 3月 5日開会

令和2年 3月10日閉会

つがる市議会

令和2年第1回つがる市議会定例会 予算特別委員会会議録目次

第1号 (3月5日)

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席委員	2
欠席委員	2
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	3
職務のため議場に出席した者の職氏名	3
開会、開議宣告	4
委員長の互選	4
副委員長の互選	4
散会の宣告	5

第2号 (3月9日)

議事日程	7
本日の会議に付した事件	7
出席委員	8
欠席委員	8
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	9
職務のため議場に出席した者の職氏名	9
開議宣告	10
議案第1号の説明、質疑	10
・議案第1号 令和元年度つがる市一般会計補正予算(第7号)案	
議案第2号の説明、質疑	13
・議案第2号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)案	
議案第3号の説明、質疑	14
・議案第3号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)案	
議案第4号の説明、質疑	15
・議案第4号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)案	
議案第5号の説明、質疑	16
・議案第5号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)案	

議案第6号の説明、質疑	16
・議案第6号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第4号）案	
議案第7号の説明、質疑	17
・議案第7号 令和2年度つがる市一般会計予算案	
散会の宣告	48

第3号（3月10日）

議事日程	49
本日の会議に付した事件	49
出席委員	50
欠席委員	50
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	51
職務のため議場に出席した者の職氏名	51
開議宣告	52
議案第8号の説明、質疑	52
・議案第8号 令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算案	
議案第9号の説明、質疑	55
・議案第9号 令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算案	
議案第10号の説明、質疑	56
・議案第10号 令和2年度つがる市介護保険特別会計予算案	
議案第11号の説明、質疑	57
・議案第11号 令和2年度つがる市下水道事業会計予算案	
議案第1号～議案第11号の討論、採決	58
・議案第1号 令和元年度つがる市一般会計補正予算（第7号）案	
・議案第2号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案	
・議案第3号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）案	
・議案第4号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案	
・議案第5号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）案	
・議案第6号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第4号）案	
・議案第7号 令和2年度つがる市一般会計予算案	
・議案第8号 令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算案	
・議案第9号 令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算案	
・議案第10号 令和2年度つがる市介護保険特別会計予算案	

・議案第11号 令和2年度つがる市下水道事業会計予算案

閉会の宣告..... 5 9

署 名..... 6 1

第 1 号

令和 2 年 3 月 5 日（木曜日）

令和2年第1回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第1号）

令和2年3月5日（木曜日）午後2時46分開会、開議

1 開会、開議宣告

1 議事日程

正副委員長互選

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

2番	齊藤 渡	3番	田中 透	4番	小笠原 忍
5番	佐々木 敬藏	6番	長谷川 榮子	7番	成田 博
8番	木村 良博	9番	佐藤 孝志	10番	野呂 司
11番	天坂 昭市	12番	成田 克子	13番	佐々木 直光
14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊	16番	伊藤 良二
17番	山本 清秋	18番	高橋 作藏		

欠席委員（1名）

1番 秋田谷 建幸

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 岷 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	台丸谷 績
民 生 部 長	稲 場 慎 也
福 祉 部 長	長 内 信 行
経 済 部 長	白 戸 登
建 設 部 長	三 浦 貴 彦
会 計 管 理 者	佐 藤 廣 文
教 育 部 長	坂 本 潤 一
消 防 長	山 崎 和 人
選挙管理委員会事務局長	三 上 雅 弘
農業委員会事務局長	吉 田 真 也
監査委員事務局長	木津谷 昭 弘
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	川 村 博 文
福 祉 課 長	嶋 昂
農林水産課長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	鳴 海 義 仁
消防本部総務課長	山 崎 義 信

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事 務 局 次 長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

◎開会、開議宣告

- 臨時委員長（長谷川榮子君） 委員長が決定するまでの間、臨時に委員長の職務を行います。
ただいまの出席委員数は17名です。定足数に達しておりますので、予算特別委員会を開会します。
(午後 2時46分)
-

◎委員長の互選

- 臨時委員長（長谷川榮子君） 直ちに委員長の互選を行います。
互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 臨時委員長（長谷川榮子君） ご異議なしと認め、私から指名します。委員長に佐々木敬藏委員を指名します。
ただいまの指名にご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 臨時委員長（長谷川榮子君） ご異議なしと認め、委員長に佐々木敬藏委員が当選しました。
ただいま当選した佐々木敬藏委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。
ここで委員長と交代します。
〔委員長交代〕
- 委員長（佐々木敬藏君） ただいま皆様より委員長にご推挙いただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。
委員並びに理事者の皆様のご協力の下、委員会の円滑な運営に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
-

◎副委員長の互選

- 委員長（佐々木敬藏君） これより副委員長の互選を行います。
互選の方法は、指名推選とし、私から指名したいと思いますが、ご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 委員長（佐々木敬藏君） 異議なしと認め、私から指名いたします。
副委員長に天坂昭市委員を指名いたします。
ただいまの指名にご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
- 委員長（佐々木敬藏君） 異議なしと認め、副委員長に天坂昭市委員が当選しました。

ただいま当選した天坂昭市委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知いたします。

◎散会の宣告

○委員長（佐々木敬藏君） 付託された議案の審査は、9日月曜日、午前10時から行います。

本日はこれにて散会します。

（午後 2時51分）

第 2 号

令和 2 年 3 月 9 日 (月曜日)

令和2年第1回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第2号）

令和2年3月9日（月曜日）午前10時00分開議

1 開議宣告

1 議事日程

議案第1号 令和元年度つがる市一般会計補正予算（第7号）案

議案第2号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案

議案第3号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）案

議案第4号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案

議案第5号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）案

議案第6号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第4号）案

議案第7号 令和2年度つがる市一般会計予算案

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

2番	齊藤 渡	3番	田中 透	4番	小笠原 忍
5番	佐々木 敬藏	6番	長谷川 榮子	7番	成田 博
8番	木村 良博	9番	佐藤 孝志	10番	野呂 司
11番	天坂 昭市	12番	成田 克子	13番	佐々木 直光
14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊	16番	伊藤 良二
17番	山本 清秋	18番	高橋 作藏		

欠席委員（1名）

1番 秋田谷 建幸

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 岨 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	台丸谷 績
民 生 部 長	稲 場 慎 也
福 祉 部 長	長 内 信 行
経 済 部 長	白 戸 登
建 設 部 長	三 浦 貴 彦
会 計 管 理 者	佐 藤 廣 文
教 育 部 長	坂 本 潤 一
消 防 長	山 崎 和 人
選挙管理委員会事務局長	三 上 雅 弘
農業委員会事務局長	吉 田 真 也
監査委員事務局長	木津谷 昭 弘
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	川 村 博 文
福 祉 課 長	嶋 昂
農林水産課長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	鳴 海 義 仁
消防本部総務課長	山 崎 義 信

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事 務 局 次 長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

◎開議宣告

○委員長（佐々木敬藏君） おはようございます。ただいまの出席委員数は17名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議案第1号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 本委員会に付託された案件は、議案第1号から第11号までの予算案11件です。

説明員については、さきに配付した名簿のとおりであります。

審査の方法は、議案ごとに質疑を行い、質疑終了後、一括して討論、採決といたします。

これより議案の質疑を行います。

議案第1号 令和元年度つがる市一般会計補正予算（第7号）案を議題とします。

説明を求めます。

財政課長。

○財政課長（平田光世君） 改めまして、おはようございます。それでは、議案第1号 令和元年度つがる市一般会計補正予算（第7号）案についてご説明いたします。

今回の補正予算は、既定の予算総額から歳入歳出それぞれ7億6,511万6,000円を減額し、予算の総額を248億8,999万3,000円とするものでございます。

第2条では継続費の変更、第3条では繰越明許費、それから第4条で債務負担行為の追加、第5条で地方債の追加、変更、廃止をそれぞれ定めるものでございます。

今回の補正予算は、補助金等の確定や事業実績に基づく補正が主なるものとなります。

それでは、歳出、28ページからご説明いたします。28ページをお開きください。28ページ、上から2段目になります。3項2目扶助費の減額でございます。こちらは、今年度の保護費の実績を見込んで減額とし、併せて歳入の国庫負担金も減額してございます。

その下の国庫支出金返還金でございます。こちらは、平成30年度分の国からの生活保護費負担金を返還するため追加したものでございます。

次、30ページお願いいたします。30ページの一番上になります。4目一般廃棄物最終処分場建設事業費でございます。こちらは、入札減によりまして管理業務委託料及び建設工事費を減額するものでございます。

次に、下の31ページをお願いいたします。右の下から2段目ですが、【7】、機構集積協力交付金の減額でございます。こちらは、農地中間管理機構への貸付戸数が14戸に確定したことから減額するものでございます。

次に、32ページをお開きください。32ページの一番上でございます。4目畜産業費です。こちらは、つがる北部地区草地畜産基盤整備事業負担金の追加でございます。こちらは、平成30年度分の繰越予算分の負担金を追加計上するものでございます。

次に、34ページをお願いいたします。34ページ中段からちょっと下になりますが、8款土木費でございます。土木費全体で補正額として5億3,619万3,000円を減額してございます。補正の主なるものといたしましては、社会資本整備総合交付金事業に係る交付金の内示額の確定、また事業費精査においてそれぞれ減額してございます。事業内容といたしましては、稲盛芦沼線舗装工事、また丸山蓮花田線防雪柵新設工事及び桜木団地建設工事などとなっております。いずれも財源である歳入の国庫補助金及び市債をそれぞれ減額してございます。

次に、37ページをお願いいたします。37ページ一番下でございます。6目消防再編庁舎建設費でございます。こちらの減額につきましては、北消防署に係る工事の出来高に合わせるため減額したものでございます。

次のページ、38ページをお願いいたします。38ページ中段にございます5目学校建設費の【1】、小学校建設費です。それと次のページ、39ページの上から2段目になりますが、同じく5目学校建設費の【1】、中学校建設費でございます。こちらは、それぞれに校内ネットワーク整備事業費を新たに計上してございます。内容といたしましては、文部科学省が進めますG I G Aスクール構想に伴いまして、国の補正予算において児童生徒1人1台のコンピューターの設置に向けた高速・大容量の通信ネットワークを整備するという内容のものでございます。財源といたしまして、国庫補助金及び市債を充当しまして、全額を繰越措置ということにしてございます。

歳出は以上でございます。

続いて、歳入、14ページをお願いいたします。14ページ、その下15ページにまたがりませんが、15款の国庫支出金及び16款県支出金でございます。こちらにつきましては、歳出に計上されました各事務事業の確定により、それぞれ所要額を計上したものでございます。

次に、18ページをお願いいたします。18ページ、一番上になりますが、19款繰入金でございます。うち特別会計繰入金の後期高齢者医療特別会計繰入金の追加は、平成30年度療養給付費負担金の確定に伴う返還金により増額補正となっております。

その下、2項1目財政調整基金繰入金でございます。こちらは、本補正予算の財源調整による追加補正でございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。なお、質疑の際はページと項目を示してください。

佐々木直光委員。

○13番（佐々木直光君） 38ページ、39ページ、先ほど説明がありました学校建設費の中の校内L A

Nの整備ということで事業を盛っていますけれども、これについて少し質問したいと思います。

まず、生徒向けということでありましようけれども、これについての指導とか、そういう体制は
どういうふうになるのでしょうか。例えばこれを先生がやるのか、もっと専門的な指導者なり業者な
りがやるものなのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 基本的には学校の先生が教えるということになっております。そし
て、今年度から県主催で研修会等をかなりの数実施しております。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） 確かに先生が生徒に指導ということでは一番いい方法なのでは
しょうけれども、逆に先生の負担といいましようか、そういう面で大きくなる
ものなのでしょうか。その辺ちょっと心配するのですけれども。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 確かに教職員の負担は若干増えるというふう
に考えておりますが、現在市内においてそういうパソコン関係の指導を
できる業者があまりないというところが現状かと思
います。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） できれば先生も大変でしょうけれども、この時代の
流れですので、こういうことは必要だと思います。

それから、もう一点ですけれども、確かに設置するということでこの予算を
盛りましたけれども、今後これを運営していく上で、例えば業者なり
そういうふうなところ
にいろんなことで、コスト的なことはどうな
のでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 今後想定されるのは、高速回線を使うこと
によって月々の使用料が増えていくということになると思
います。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） ということは、例えば大体年間幾らぐら
いとか、そういうことではまだ試算できていない
のでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育総務課長。

○教育総務課長（鳴海義仁君） 各学校の規模にもよると
思います。そして、実際令和5年度までに1人1台
ということなので、現在のところまだ試算はして
おりません。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） 31ページの【2】、畑作振興費でござ
いますけれども、137万8,000円減額になって
います。経済部長に、ちょっと関連でお伺い
したいのですけれども、昨年
から畑作に関して

は本当に豊作貧乏ということで、価格のほうも3分の1あるいは半分以下、大変農家が困っている状況なのは経済部長のほうも把握していると思いますが、そこでこの畑作振興費に関して、市で何かしらの対応を考えているのかどうか、ちょっとお伺いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 成田委員にお答えいたします。

委員の質問というのは、多分昨年度野菜が低価格ぎみで、農家のほうも大変厳しいということで市のほうで何か対策を取れないかということで聞いているかと思えます。それに対しましては、確かに県産の野菜の主力であるニンニク、ゴボウ、長芋の今年の市場価格が低迷しております。本市においても影響を受けているということは認識しております。しかしながら、本市においては稲作との複合農家がほとんどで、今年の稲作が好調であったということで、県南ほどの打撃はなかったというふうに考えております。

また、市でどうの、補助するとかというよりも、やはり最近収入保険なりに入っておりますので、そちらのほうの周知も図っていききたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田博委員。

○7番（成田 博君） 米と一緒に収入は減っていないということですが、米は一部、畑作を中心としている人たちの苦情が大変多いのでございます。ですから、市としてもやはり農協とまた協議をしながら、南部辺りの農協では既に畑作に関して種子代の補助、助成、そういうのを行っておりますし、つがる市としてもやはり農業のまちですので、農家に対して手厚い何かしらの助成金、そういうのを検討してもらいたいと思えますけれども、市長、そのところをどう思いますでしょうか、お伺いしたいと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 福島市長。

○市長（福島弘芳君） やはりこれは、市単独というよりも農協も大きく絡んでくると思えます。そういう点から、農協と歩調を合わせて話し合いながら、今後これからまた対応していきたいというふうに思います。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第1号の質疑を終わります。

◎議案第2号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第2号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（三浦貴彦君） それでは、議案第2号 令和元年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）案についてご説明いたします。

今回の補正は、既定の歳入歳出の総額からそれぞれ295万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億4,433万3,000円とするものであります。

まず、歳出予算からご説明させていただきます。7ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費でございます。4節共済費は、人件費の調整でございます。13節委託料は、公営企業会計適用に伴うシステム構築委託料が確定したことにより13万2,000円の減額でございます。

次に、1款総務費、1項2目処理場管理費でございます。15節工事請負費は、工事が完了、完成したことにより282万2,000円の減額でございます。

続きまして、歳入予算についてご説明いたします。6ページにお戻りください。5款1項1目一般会計繰入金でございます。こちらは、歳入歳出の調整のため、一般会計より繰入金を102万2,000円増額しております。

次に、7款2項1目雑入でございます。落雷被害による車力地区処理施設改修工事が完成したため、建物災害共済金が確定し、77万4,000円を減額しております。

次に、8款1項1目農業集落排水事業債でございます。落雷被害による車力地区処理施設改修工事及び公営企業会計適用に伴うシステム構築委託料が確定したことにより320万円を減額しております。

これで説明を終わります。ご審議方よろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようでありますので、議案第2号の質疑を終わります。

◎議案第3号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第3号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）案を議題とします。

説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（三浦貴彦君） それでは、議案第3号 令和元年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ5万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億1,631万9,000円とするものです。

まず、歳出予算からご説明させていただきます。7ページをお開きください。1款総務費、1項1目一般管理費及び2款事業費、1項1目木造地区建設費の4節の共済費については、人件費の調整を行っております。

1款総務費、1項1目一般管理費、13節委託料は、公営企業会計適用に伴うシステム構築委託料が確定したことにより13万2,000円の減額でございます。

続きまして、歳入予算についてご説明申し上げます。6ページにお戻りください。4款1項1目一般会計繰入金でございます。こちらは、歳入歳出の調整のため一般会計より15万7,000円を増額しております。

次に、7款1項1目下水道事業債でございます。公営企業会計適用に伴うシステム構築委託料が確定したことにより10万円を減額しております。

これで説明を終わります。ご審議方よろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第3号の質疑を終わります。

◎議案第4号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第4号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案を議題とします。

説明を求めます。

民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 議案第4号 令和元年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ190万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ43億1,725万9,000円とするものでございます。

それでは、歳出から説明いたします。6ページをお開き願います。第6款1項1目基金積立金190万9,000円の増額補正でございますが、これは歳出予算の調整による基金積立金でございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページへお戻り願います。第6款繰入金、1項1目一般会計繰入金、総額160万1,000円の増額補正でございますが、事業に要する経費の確定によるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようでありますので、議案第4号の質疑を終わります。

◎議案第5号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第5号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）案を議題とします。

説明を求めます。

民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 議案第5号 令和元年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ924万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億3,496万円とするものでございます。

それでは、歳出からご説明いたします。6ページをお開き願います。第1款総務費、1項1目一般管理費でございますが、後期高齢者医療広域連合への負担金が共通経費負担金の確定により92万3,000円の減額、医療給付費負担金の確定により259万9,000円の減額でございます。

次に、第2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金216万3,000円の減額でございますが、保険基盤安定負担金の確定によるものでございます。

次に、第4款諸支出金、2項1目一般会計繰出金1,490万8,000円の増額でございますが、平成30年度療養給付費負担金の確定による返還金でございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページへお戻り願います。第3款繰入金でございますが、1項1目事務費繰入金では、主に療養給付費負担金の確定により350万2,000円の減額と、2目保険基盤安定繰入金687万7,000円の減額は保険基盤安定負担金の確定によるものでございます。

次に、第5款諸収入、3項1目県後期高齢者医療広域連合給付金1,490万8,000円の増額でございますが、平成30年度療養給付費負担金の確定による返還金でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第5号の質疑を終わります。

◎議案第6号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第6号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第4号）案を議題とします。

説明を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（長内信行君） 議案第6号 令和元年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第4号）案についてご説明します。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,618万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ47億7,646万2,000円とするものでございます。

それでは、歳出から主なものについてご説明いたします。7ページをお開き願います。今回の歳出補正は、年度末ということで事業等の精査を行い補正するものです。2款保険給付費は4,564万円を増額補正し、42億9,864万円としております。内訳は、2款1項1目居宅介護サービス給付費、補正額622万2,000円、2款1項3目施設介護サービス給付費、補正額3,333万2,000円、6目の居宅介護サービス計画給付費、補正額334万2,000円、ページが飛びまして、9ページをお願いします。2款6項1目特定入所者介護サービス費、補正額274万4,000円、それぞれにつき各利用者の増加に伴い増額補正するものです。

次に、下の3款1項1目介護保険財政調整基金積立金です。1,910万5,000円を増額補正し、1,910万6,000円としております。これは、今年度概算で交付される保険給付費等に対する国、県の負担金について、翌年度精算による返還の財源として一時的に積み立てるものです。

次に、下の9ページから10ページにかけての4款1項1目介護予防・生活支援サービス事業費、補正額143万5,000円増額は、支援サービス計画の作成について利用者の増加によるものです。

次に、歳入をご説明します。5ページにお戻りください。歳入については、保険給付費等に対する国、県などの負担金が確定したことに伴う増額補正が主なもので、3款1項1目介護給付費国庫負担金、補正額2,432万6,000円、2項国庫補助金のうち4目保険者機能強化推進交付金、補正額455万2,000円、4款支払基金交付金、補正額989万8,000円、5款県支出金、補正額2,349万1,000円をそれぞれ増額補正しております。

次に、下の7款1項一般会計繰入金のうち1目介護給付費繰入金、補正額372万6,000円増額は、保険給付費の増額に対する市負担分について一般会計より繰入れするため計上しております。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第6号の質疑を終わります。

◎議案第7号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第7号 令和2年度つがる市一般会計予算案を議題とします。

説明を求めます。

財政課長。

○財政課長（平田光世君） それでは、議案第7号についてご説明いたします。

予算書の1ページをお開きください。予算書の1ページでございます。議案第7号 令和2年度つがる市一般会計予算案についてご説明いたします。令和2年度つがる市の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条です。歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ255億8,000万円と定めるものでございます。

第2条で地方債、第3条では一時借入金の最高額を50億円と定めております。

第4条では、地方自治法に基づき、歳出予算の流用について定めたものでございます。

それでは、歳入歳出の概要について、11ページ、12ページの総括表を基に大きく増減している主な内容についてご説明いたします。

歳入、11ページをお開きください。まず、第1款市税でございます。前年度比9,019万6,000円増の24億5,101万1,000円を見込んでございます。増額の要因といたしまして、風力発電設備の一部完成に伴う償却資産税1億1,309万6,000円が増額となっております。また、減額の要因といたしましては、法人税において税率の改正があり2,108万1,000円の減額となったものでございます。

次に、7款の地方消費税交付金でございます。こちらは、消費税率の引上げにより1億6,000万円増を見込んでおります。

次に、11款地方交付税でございます。本市の歳入の大宗を占める地方交付税でございますが、こちらは89億円と前年度比0.7%の増としてございます。内訳としましては、普通交付税が来年度で合併算定替えが終了し、一本算定による減の要因はあるものの、公債費算入の増や地域社会再生事業費の新設などによりまして、前年度と同額の83億円を見込んでございます。また、特別交付税につきましては前年度比6,000万円の増を見込んでおります。

次に、18款の寄附金でございます。こちらは、前年度比1億500万円の増、1億2,900万1,000円を見込んでございます。これは、風力発電設備の設置により再生可能エネルギー発電事業者からの農山漁村活性化事業寄附金1億500万円を新たに計上したものでございます。

次に、19款繰入金においては、前年度比2億4,463万2,000円の増の16億958万1,000円を見込んでおります。財政調整基金を6億4,444万7,000円、それから減債基金を3億7,000万円、合併振興基金を3億8,200万円などそれぞれ繰入れし、基金繰入金全体では15億9,458万6,000円とし、前年度比2億2,963万9,000円の増となっております。

次に、22款市債でございます。こちらは、前年度比4億5,420万円減の49億6,060万円を見込んでございます。合併特例債における総合体育館建設事業及び防災備蓄倉庫整備事業、こちらの増はございますが、一方でつがる地球村温泉棟建設事業及び消防再編庁舎建設事業費の縮小と旧木造高校

稲垣分校改修事業及び旧木造公民館講堂移築保存事業の終了によりまして減額となっております。これによりまして、地方債の令和2年度末地方債残高見込額は今年度末の残高見込みから15億9,855万3,000円の増となり、398億9,679万6,000円を見込んでございます。

以上、歳入でございます。

続いて、次のページ、12ページをお願いいたします。歳出でございます。歳出の主なるものとして、まず2款総務費でございます。こちらは、前年度比2億6,060万7,000円減の18億189万6,000円を見込んでございます。コミュニティーセンター建設事業、また木造ふれ愛センター改修事業、また民間賃貸住宅建設支援事業などの減によるものでございます。

次に、4款衛生費でございます。こちらは、前年度比8億2,442万3,000円増の38億6,642万3,000円を見込んでございます。主なる要因として、一般廃棄物最終処分場建設事業費が5億7,310万8,000円の増、また水道企業団の出資金、こちらが2億2,786万7,000円の増によるものでございます。

次に、7款商工費でございます。前年度比2億4,762万8,000円減の2億4,710万8,000円を見込んでございます。こちらは、つがる地球村温泉棟建設事業費が2億8,055万5,000円の減によるものでございます。

次に、8款土木費でございます。こちらは、前年度比2億3,603万1,000円増の29億6,566万3,000円を見込んでございます。社会資本整備総合交付金による入間橋補修工事が1億3,000万円の増、また民生安定事業による豊富35号線及び18号線改良工事、こちらが7,301万4,000円の増のほか、森田十文字線道路改良工事及び菴中日向線歩道改良工事、こちらが4,741万8,000円の増によるものでございます。

次に、9款消防費でございます。前年度比3億192万円の減の18億9,322万8,000円を見込んでおります。消防再編庁舎建設事業費が4億4,046万5,000円の減と防災備蓄倉庫建設事業が2億824万5,000円の増によるものでございます。

次に、10款教育費です。前年度比1億7,212万9,000円増の23億8,197万6,000円を見込んでおります。教育費については、旧木造高校稲垣分校改修事業及び旧木造公民館講堂移築保存事業の減はあるものの、総合体育館建設事業が5億8,443万5,000円の増によるものとなっております。

次に、11款公債費でございます。こちらは、長期債償還元金の増によるもので、前年度比4%増の35億5,164万7,000円となっております。

令和2年度の当初予算の概要は以上でございますが、附属説明書として一般会計、特別会計の主要施策に分類した主要事業一覧表を別冊で提出してございます。内容についての説明は省略いたしますが、ご参考にしていただきたいと思います。

以上、議案第7号の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

まず、歳入の質疑を行います。36ページまでとなります。なお、質疑の際はページと項目を示し

てください。

木村委員。

○8番（木村良博君） 11ページ、18款の寄附金は先ほどの説明によれば風力発電絡みの増ということで1億500万円ほど増になっているわけですが、これは使い道、色ついているのか、ついていないのか。108ページのほうに盛っているのですけれども、予算ついてはいますけれども、これは予算執行に当たって色がついているのか、ついていないのか、説明をお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） この基金については、地域の農林水産業に寄与する地域振興事業に活用するための財源ということでなっております。ですから、色ついているといたしますか、農林水産業の政策の財源であれば活用できるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） そうすれば、今年度はどういう予算に持っていこうとしているのか、説明をお願いします。1年で消化するのか、何年もかかって消化するのか、その辺も詳しくお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

今年度、その寄附金1億500万円、これは風力発電の売電収益の一部を市に対して寄附するというもので、これが20年間続きます。単年度、単年度で全部消化しなければいけないというものでもないため、これを基金に積むということでまずご理解願いたい。単年度で消化し切れないものは、そのまま基金に積立てして、次年度以降の事業に活用していくということにしております。

ちなみに、今年度の活用する事業につきましては、まず1つ目にメロン出荷施設増築事業補助金233万2,000円、2つ目にスマート農業基地局設置事業323万8,000円、3つ目に農地耕作条件改善事業補助金2,100万円、4つ目にメロン水耕栽培機器導入事業1,535万7,000円に活用することにして予算計上しております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木直光委員。

○13番（佐々木直光君） 関連して、先ほど風力発電に関する固定資産税について説明頂きましたけれども、この固定資産税については償却資産ということで毎年一定ではないみたいなのですけれども、一番額として入ってくるのは、いつ頃なのでしょう。

それから、何かこれそのまま入ってきても、交付税との関係があつて、その分交付税が減らされるような話も聞いておりますけれども、その辺について説明をお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 財政部長。

○財政部長（台丸谷 績君） ただいまの質問にお答えいたします。

まず、固定資産税の償却資産税という部分にこのお金が入ってまいります。令和2年度については1億1,300万円ほど予算を見ております。令和3年度以降については、さらに2億円ほど増える、約3億円ほどになるかと思っております。これは、基本的には20年間で償却資産税やるものでありまして、総額では現在のところ30億円程度を見込んでおります。

交付税の話がありましたが、税収が増えますとその分の75%交付税が減ります。要は収入が増えるということで、その分財源が豊かになるだろうということで75%減ということになります。ですので、純粋に市で増える分というのは25%ということになります。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようでありますので、歳入の質疑を終わります。

次に、歳出の質疑を行います。歳出は、区分して審査します。

第1款議会費から第2款総務費まで質疑を行います。ページ数は37ページから71ページまでとなります。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 49ページの委託料、出会いイベント業務委託料なのですが、まずこの委託先はどこでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 出会いイベントの委託先の件でございますけれども、これはまだ決まっておられません。予算が議決になって、4月に入りましてから入札等をして業者を決めることになっております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） その下のほうに結婚サポーター活動支援補助金とか様々あるわけなのですが、去年何回か聞いたら、14組のカップル誕生とかおっしゃっていましたが、カップル誕生ということは結婚して初めてカップル誕生というふうに私は理解しているのですが、途中で何か結婚しているのではなくて進行形だとかなんとかという話に変わったような気がするのですが、その辺どうなっていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 長谷川委員おっしゃるとおりで、結婚に至ったケースというのはまだ見受けられておりません。どうしてもカップルになった二人でございますけれども、その後しつこく調査等をするのもちょっとはばかれるので、できれば今後何か進展がございましたら、お二人さんの情報を頂けたら幸いですという、そういう感じでその後の追跡しておりますので、はっきりとは把握していないのが現状でございます。

- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） そうすると、まだ正式にカップル誕生の人はいないということですね。14組が進行中だというふうに理解しているのですけれども、それに変わりありませんか。
- 委員長（佐々木敬藏君） 総務課長。
- 総務課長（高橋一也君） 数ははっきりと把握しておりませんが、14組中何組かはその後駄目になったケースはあるとは聞いております。
- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） 駄目になったカップルのほうが多くて、これ数増えていなかったらおかしいのですよね。進行形のカップルの人をいかにサポートしていくか、それが私は大事だと思うのですけれども、その辺のところはどういうふうに考えていますか。
- 委員長（佐々木敬藏君） 総務課長。
- 総務課長（高橋一也君） 委員おっしゃるとおりでございますけれども、これは男女の二人のことでございますので、あまりこちらのほうで細かいところまではまるのもちよっと気が引けるといいますか、そういうことで、ただ委員おっしゃるとおりこちらのほうでカップルとなった二人について把握、その後どうなっているかとか、今後もそれなりに調査を続けたいと思いますので、何とかご理解のほどお願いします。
- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） 非常に難しいというか、でもともかく一組でもカップル誕生ということで、結婚式とかそういうのに何らかのお力を差し上げたら、次につながるのではないかなと思いますので、引き続き頑張っていただきたいと思います。
- 今後、何組カップル誕生とかという言葉は気をつけられたらいいと思います。ほとんどの人は14組結婚したものだ、そうすればあと何年かすれば何人か子供が生まれるのではないかと期待をしていたので、その辺のところ気をつけられたほうがよろしいかと思います。それはいいです。
- 次、いいでしょうか。
- 委員長（佐々木敬藏君） はい、どうぞ。
- 6番（長谷川榮子君） 次の50ページ、お願いします。東京事務所なのですけれども、まだ東京事務所が開所してから1年たたないわけなのですけれども、その後順調にしているものと思いますけれども、東京事務所の開設に当たってはメロンのカフェばかりではなくて、企業誘致にも力を入れるというふうに説明があったと思いますけれども、その辺はどうでしょうか、まず教えてください。
- 委員長（佐々木敬藏君） 総務部長。
- 総務部長（今 正行君） まず、つがる市にきた誘致企業の本社、東京のほうにある会社もございまして、そちらのほうにお邪魔していろいろ話合いとかもしてございまして、一部の会社につきまして

はこちらの会社の施設を拡大といいたいでしょうか、もうちょっと広くしてもらえれば従業員の方も増やせるということで、その辺は本社のほうとやり取りをして、実際職場を広く確保しまして、10人から15人ぐらいを新規にまた採用するというので一定の成果も見えていました。

あとは、本当の新規の開拓といいたいでしょうか、その辺はまだいいお話はちょっとできないのですけれども、今後メロンカフェのほうも大分落ち着いてくれば、国の情報収集もそうなのですからけれども、企業誘致、こちらのほう企業のほうに足を運んで進めていきたいと考えておりましたので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 企業誘致は本当に大変なことは分かっていますけれども、ぜひ東京のほうにいらっしゃる職員の方には頑張っていたいただきたいと思います。

それから、これは予算には関係ないのですけれども、この間朝の時間帯でテレビを見ていましたら、「あさチャン！」という6時から8時までの番組があるのです。結構な視聴率の番組なのですけれども、そのときに我が東京事務所のメロンのことが報道されていました。メディアの力を借りたら大変いいと思いますので、ぜひ頑張っていたいただきたいと思います。

それから、去年の秋に副市長をはじめとして、メロンばかりではなくて長芋とか野菜の販売に頑張ったそうで、これもメディアに取り上げられまして、大変好評だったというふうに向っています。こういうお仕事というか、地元の関係もあると思いますけれども、メロンにばかりこだわらなくて、長芋であれ、リンゴであれ宣伝するいい場所だと思っておりますので、ぜひ頑張っていたいただきたいと思ひます。答弁はいいです。

○委員長（佐々木敬藏君） ここで休憩したいと思います。

休憩 午前11時01分

再開 午前11時14分

○委員長（佐々木敬藏君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

木村委員。

○8番（木村良博君） 51ページ、先ほど長谷川榮子委員が質問しましたけれども、関連で質問したいと思ひます。

誘致企業の話が出たわけですがけれども、実際どういう企業を回っているのか。やっぱりつがる市は純農村地帯でございます。そういう特徴とすればいいのか、そういう利点、そういうことをちゃんと絞って回っているのか、どこでもただ来ればいいと思ひて回っているのか、そこら辺のところを総務部長、ちょっと説明お願ひします。

○委員長（佐々木敬藏君） 総務部長。

○総務部長（今 正行君） お答ひいたします。

まず、どういう企業を回っているのかということでございます。つがる市の東京事務所も去年進出したのですけれども、ただ企業に入っても簡単に、「では、考えます」とかというのはなかなか難しいと思っております。県の東京事務所の企業誘致の係があるのですけれども、そちらのほうと連携を取りまして、地方のほうに進出したいとかという企業があれば県のほうと連携を取ってそちらのほうに回っていったり、あと委員おっしゃるつがる市の特徴は農業ということなのですけれども、所長のほうとかは農業関連とかその辺も勉強して誘致できればなということで、まだ具体的に農業関連に回っていつていると、そういうのはないのですけれども、現状はそういう状況でございます。

○委員長（佐々木敬蔵君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 今、日本全国、本当に大規模な災害があるわけです。そういう中で大手の食品製造業あたりは一極集中から分散だと、危険でだめだと。そういうことを考えれば、つがる市は私が思うには、これからどうなるかこれは予測できませんけれども、今は日本で一番災害のない安全、安心な地域だと、こう思っております。それと同時に、あそこに農業委員会の会長もいますけれども、今一番伸びているのはカット野菜とかそういう会社というか、そういうものを手がけているのが今一番日本で伸びています。そういうことを考えれば、米プラス、やっぱり米農家に機械化をした副業、これにもっともつがる市は力を入れると、そういう企業にきちっとターゲットを絞って誘致するべきだと。何でもかんでも来ればいいと、それは実際五所川原のハローワークにしてもつがる市の事業所は結構募集をかけています、人が足りなくて。そういう中で、まるきりつがる市に合わないと言えど変ですけれども、会社が来れば、もっともつがる市の事業者が逆に人手不足で困るなど、そういう事態も予測されます。私は、どうせ企業を誘致するのであれば、きちっとつがる市の農業、これに関係した会社に絞って企業誘致するべきだと、そして農家と一体となるこういう企業を誘致してほしいと、こう思いますが、副市長、市長、その辺答弁をお願いします。

○委員長（佐々木敬蔵君） 副市長。

○副市長（倉光弘昭君） 東京事務所を去年開設して、各企業には回らせてはいますが、まず東京事務所の立ち位置からちょっとだけ説明しますが、今津軽自動車道が柏で止まっていると、あと柏と浮田の間、これがつながれば鯉ヶ沢の港湾から真っすぐ東京まで行けるということになりますけれども、それをいならんで自動車道が全線開通してから企業誘致しても遅いだろうということで、四、五年前から東京事務所を開設して各企業を回らせるということで、東京事務所では企業立地あるいは誘致の冊子、パンフレット、これを作成して、有望な企業を回れということで指示しているところです。

今委員がおっしゃるとおりつがる市に合う企業ですけれども、当然農業大国でございますので、農業の関連、農作物の関連、米の関連、野菜の関連ということで、今、日本の農業が契約栽培にかなり移行してきていますので、つがる市も契約栽培に移行した暁にはやはり契約栽培してくれた企

業の加工場を地元で設けていただけるような施策もこれから考えていかなければいけないというふうに考えています。つがる市に合う企業は何かと、これを問われたら、即座に言えないのですけれども、気候的な問題、あとは交通の関係からいうとIT関係、それから例えば自動車とか大手家電の大型の製造業は、まず来ないと思います。これは無理なのかなと思っていますけれども、農業関係の例えばトマト関係、あるいは野菜関係の加工部門、トマトジュースであれ野菜ジュースであれ、そういう関係の食品メーカーがターゲットになろうかと思っています。IT企業の大きなサテライトが来てくれれば一番いいのですけれども、そうなれば県内の理系の学生も入れるので、かなりいいのかなと思っていますけれども、何分自動車道がまだ全線開通していないということで、それをにらみながら市に合った誘致企業をターゲットに集中的に回らせたいというふうに考えてございますので、これからも議員の皆さんのお力をぜひお借りして、念願の企業を一つでも誘致できるように頑張っていきたいと思っていますところでございます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 例えば育成小学校が閉校になります。あそこの学校はまだまだ新しい、これからはきちっと地震にも耐える。そしてまた、将来的に見れば、これは言い過ぎかもしれませんが、穂波小学校、瑞穂小学校、やがては向陽小学校と合併になるだろうと、こう思っております。この学校もまだまだ使えます。閉校した学校、こういう学校とかをきちっと説明して、建物は提供しますよとか、誘致する人はそこまでちゃんと考えて相手に訴えて誘致しているのか。そういうことを考えれば、私はもしかすればいい企業が来るチャンスがあると、こう思っております。ぜひピンチをチャンスに変えるように、そういう気持ちで取り組んでもらうように要望して終わります。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、第1款から2款まで質疑を終わります。

第3款民生費から4款衛生費までの質疑を行います。71ページから100ページまでとなります。

成田克子委員。

○12番（成田克子君） 84ページ、右の一番上ですけれども、認定こども園、つがる市に何か所あって、今回一番多く事業費のかかるところはどこか、この2点についてお願いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 福祉課長。

○福祉課長（嶋 昂君） 成田克子委員のご質問にお答えいたします。

予算書の84ページ、認定こども園等整備事業費補助金でございますが、令和2年度は、いなほ保育園の施設の整備を予定しております。これが主な事業でございます。

認定こども園の数に関しては、ちょっとすみません、今手元に資料がなくて、後ほどお答えした

いと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○12番（成田克子君） はい、それでいいです。もう一つ。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○12番（成田克子君） この整備事業をやっていくのに子供たちを休ませてやるのでしょうか、同時進行でいくのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 福祉課長。

○福祉課長（嶋 昂君） 現在の園舎、建物がございまして、それで保育は継続して、すぐ隣地といたしますか、近くに新しい建物を建てる、建て終わったら古いほうを壊すということで、継続でまいりたいと思っておりました。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） ページ数とかはともかくとして、時が時なのでちょっと教えてください。

今の新型コロナウイルスの関係なのですけれども、当市ではマスク、災害関係で備蓄しているものなのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 総務部長。

○総務部長（今 正行君） マスク、備蓄してございません。災害協定を結んでいる事業者さんのほうにも確認したのですけれども、ちょっとまだ入荷のめどが立っていないということで、現在備蓄はしてございません。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 医療現場では何か問題がありませんか。

○委員長（佐々木敬藏君） 総務部長。

○総務部長（今 正行君） 現在つがる市民診療所のほうについては特段不足しているという情報は来てございません。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 幸いなことに、まだ青森県には感染者が出ておりませんので、それほどの心配はないのですけれども、でもマスコミの関係でしょうか、二、三日前まではトイレットペーパーなんかどこを探してもありませんでした。でも、昨日は大抵のお店にトイレットペーパーが山積みにあります。ただ、マスクは依然として市民の人もととても不安で、マスクがない、マスクがないという声ばかりですけれども、私は医療現場とか介護現場の人が優先して使うべきだと思いますので、もし何かがあったら相談窓口になって頑張っていたきたいと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐藤委員。

○9番（佐藤孝志君） ページ数は95ページ、一番下のほうになりますけれども、合併処理の浄化槽の件なのですが、昨年よりも1,000万円ほど減額予算になっています。たしか昨年30基、2,800万幾らの予算で準備されていたと思うのですが、今回の1,713万2,000円で何基予定しているのかお伺い

します。

○委員長（佐々木敬藏君） 建設部長。

○建設部長（三浦貴彦君） 今ちょっと資料のほうございませんので、終わってからお答えしたいと……申し訳ございません。新年度予算では5人槽が20基、それから7人槽が15基、10人槽を2基見えております。申し訳ございませんでした。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐藤委員。

○9番（佐藤孝志君） 数については分かりました。1,000万円も昨年よりも少ないので、たしか補正予算の中でも1,400万円ぐらい去年の予算を減額補正していますけれども、その辺の種々の関係でそうなっているのかどうか分かりませんが、こういう補助については例えば今言われた20基、15基、2基、これ以上申込みが出れば予算上追加して許可されるものなのか。できればそうあってほしいと思っていますけれども、その辺のところ。

○委員長（佐々木敬藏君） 建設部長。

○建設部長（三浦貴彦君） 浄化槽につきましては、前年度でも83基を見ておりまして、十分に台数は見ているわけなのですが、もし今言われた足りないという場合は、一応県の補助金の関係もございしますが、途中で県と相談して補足して、確保できるようにはしたいと考えております。

○委員長（佐々木敬藏君） 福祉課長。

○福祉課長（嶋 昂君） 先ほど成田克子委員からご質問がありました認定こども園の数でございますが、つがる市内の認定こども園は10か所、あと参考までに保育所が4つ、幼稚園が1つ、全部でこども園、幼稚園、保育所合わせますと15園となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員、よろしいですか。

それでは、会議を続行いたします。

成田委員。

○12番（成田克子君） 96ページですけれども、市民特別健診費、昨年よりも500万ほど減っていると思っておりますけれども、この減った理由は何でしたっけ。

○委員長（佐々木敬藏君） 福祉部長。

○福祉部長（長内信行君） 市民特別健診費の中の特に12節の委託料なのですが、昨年度はこちらが6,633万3,000円、今年度6,100万円となっております。こちらの6,100万円の総合検診委託料、こちら胃がん検診等6個の検診なのですが、昨年度までは市民特別健診は基金を活用して事業を実施しております。平成31年度までは、その基金の活用計画に基づいて受診者数を予定してございました。計画どおり受診者数を増やすための取組等に当たっていますが、人口減など様々な要因がございまして、実績と計画とは乖離している状態で、令和2年度におかれましては前年度までの実績を基に予算編成に当たっておりますので、前年度より当初予算の金額が減額となっております。

います。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、3款から4款まで質疑を終わります。

第5款労働費から7款商工費まで質疑を行います。100ページから124ページまでとなります。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） ページ数が110ページ、ため池管理委託料、その下の業務委託料ありますけれども、まず委託先はどこですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

ため池管理委託料、この管理先ですけれども、牛潟大溜池管理委員会、こちらのほうに委託しております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） つがる市では、ため池というのは何か所あるのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

ため池の数は138か所、うち防災重点ため池が41か所となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 昨年は雨が降らなかった関係で、ほとんどのため池がかれたのです。うちのほうにも大ため池があって、ブラックバスで遠くのほうからも若い人たちが釣りに来る大変大きなため池なのですけれども、そのため池もすっかりかれたのです。天気の関係だというのは理解できるのですけれども、ベンセ湿原が最近かかれてきている、このままでいったら20年先ぐらいはベンセ湿原が半分以下になるのではないかと、そういう声をよく耳にしますけれども、その辺はどういうふうに捉えていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

ベンセ湿原については、農業用ため池というよりも国定公園になっておりますので、その辺は県のほうと協議しながら、どういうふうな保存方法と云えばいいですか、管理方法と云えばいいですか、その辺を協議しながら進めていきたいというふうに考えております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） ふだん気にもしないため池なのですけれども、私たちの分からないようなところで貴重なベンセ湿原なんかに大きい影響があるというふうに聞いていますので、しっかりと

維持管理に努めていただきたいと思います。答弁はいいです。

それから、その下の111ページ、委員長、いいでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） はい、どうぞ。

○6番（長谷川榮子君） 111ページなのですけれども、多面的機能支払事業費、これ保全会のことだ
と思うのですけれども、私の記憶では平成19年度、たしか104保全会があったと思っていますけれど
も、今は保全会というのはどのぐらいなのか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 保全会ですけれども、平成19年度から事業が開始されております。19年
度当初は108組織ありました。令和元年度現在で80組織となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） すると、随分少なくなっていますよね。少なくなった理由は何でしょうか。
私は、この保全会はメリットとデメリットがあると思うのですけれども、聞いて歩きますと、とも
かく花を植えるとか、顔を出せば3,000円もらえるということで、お年寄りの人は大変喜んでいる事
業だというふうに聞いています。そんなに喜んでいる人がいるのに、何でこんなに減っているの
ですか。減った理由は何でしょう。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

減った理由ということで、これはつがる市に限らず全国的な傾向だと思っております。主な理由
としては、構成員の高齢化による参加者の減少、あとは後継者不足、役員、事務局の担い手不足な
どが考えられます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 聞いて歩きますと、やっぱり事務手続が非常に面倒だ、その事務に携わっ
ている人がボランティアだということで割に合わない、また「年いったから、やめるじゃ」、そう
いうことでやめている保全会も多いというふうに聞いています。それと、私のところに寄せられて
いるのは、農道に砂利を敷いて、それが毎年敷くものだから山盛りになって、軽トラが歩くのに支
障を来している。だから、せっかく敷いた砂利も今度はわざわざそれを剥ぎ取っている、そういう
保全会もあるのだそうです。そういう苦情みたいなのは当局に寄せられていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

確かに砂利敷き、毎年砂利を敷いていくとどうしても道路が高くなって、農作業、例えばコンバ
インで刈って、それをトラックにつける際に、トラックを路肩に寄せれば傾いてしまつて危ないと

か、また圃場に機械で下りていくときに傾斜が急でちょっと危険だというような話もあって、それは各保全会によって、一旦敷いた砂利をまたグレーダーで剥いで対応している組織もございます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 砂利を敷くのではなくて、農道を舗装すればいいと思いませんか。私前にも5地区の農道の舗装率を聞いたことがありますけれども、木造、柏、森田、稲垣、車力、地区ごとに農道の舗装率を教えてください。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

まず、木造が4.6%、森田が35.7%、柏が25.2%、稲垣が12.6%、車力が4.4%、市全体では10.3%となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 何年か前に聞いたときと全然変わっていないのです。何で一番大きい木造が4.6%で森田が35.7%、この差は何ですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 私もちょうと具体的には分からないのですけれども、合併前の各町村の取組の結果だと思えます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 市長、合併前からこうなのだって。木造の4.6%、あんまりだと思いませんか。

それで保全会、これは国、県、市当局の持ち出しなのですからけれども、今まで保全会にどのぐらいのお金が使われていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

平成19年から平成30年までの決算額でお答えいたします。全体では26億6,925万1,000円、これを補助割合で見ますと国が13億3,462万5,000円、県と市が6億6,732万1,000円ずつとなっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 全体で26億も使って、市の持ち出しが6億6,000万円。でも、この事業は環境保全にも努めるというふううたっていますよね。今雪が解けて、今年は雪が少ないのですけれども、毎年今頃になるとあちこちにごみの山です。空き缶、もう本当に、こんなにお金をかけて環

境保全に努めるとうたっている割にはごみが多過ぎます。そして、農道もわざわざお金かけて砂利を敷いたのに、またお金かけてそれ取っている、これはおかしいと思いませんか。これほどのお金を使っているのだったら、農道を舗装すればどうでしょう。木造が駄目なのですよ、市長、頑張ってもらわねばならない。何とか、これ考えるときが来ているのではないのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 福島市長。

○市長（福島弘芳君） 確かに今の農道の舗装率を見ますと、木造あるいはまた車力は低いわけですがけれども、これは保全事業でやれないのです、単費なのです。ですから、大変なのは分かっていますけれども、何かいい方法がないかなと、その辺ちょっと考えさせていただきますので、ご理解いただきたいと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 本当に考えねば駄目なのだって。出てくる保全会の人も高齢化になって、出てくれば「帰れ」としゃべるわけにいかないのだって。だけれども、草も刈れない、事故があれば怖い、だから近々やめなければ駄目だという保全会の人が多いのです。多分もっともってやめていく保全会が出てくると思うのです。今の農道の舗装率とかそういうのも考えて、メリット、デメリットがあまりにも多過ぎるので、これは土地改良も絡んでいるし、いろいろあるのは分かって聞いているのです。でも、そこをやっぱりやってもらわなければ、保全会関係なくて木造の農道の舗装率、森田の三十何%にはかなわないかも分からないけれども、何とか10%、20%に持っていかなかったら、農業のまち木造、これ恥ずかしいと思いますので、よろしくお願いします。副市長からも答弁をお願いするかな。

○委員長（佐々木敬藏君） 副市長。

○副市長（倉光弘昭君） 農道の舗装ですけれども、木造はパーセンテージが低いですがけれども、多分パーセンテージではなくて舗装の延長を調べるとかなりの数にはなると思うのですけれども、資料ありませんから、ある意味予想で言っていますけれども、当然木造は農道の総延長がかなり多いと感じています。旧木造時代に舗装を補助事業でやるということでは記憶にありましたけれども、その後農道の舗装の補助事業がたしかなくなって、全て単費でやることになったので、それ以来やっていないというふうに思っています。

今委員がおっしゃられる農業のまちつがる市ということで、補助事業も国にも要望していきますし、それに代わる例えば起債でやれないものか、その辺も全て勘案してこれからできるところからやるということで調整していきたいと思っています。本当の細々した農道までは不可能ですがけれども、基幹の農道、集落と集落をつなぐ広い農道ありますので、その辺を予算措置ができれば、その方策を探っていきたいというふうに考えています。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） ごめん、もう一つ。ともかく事務関係が難しくついていけない、それで

もうやめようかという保全会が多いのだそうです。これ土地改良さんに相談して、もうちょっと土地改良さんでやってもらえないものなのではないでしょうか。でなければ、ますますやめていく保全会が出てきますよ。そこをお願いできないものなのではないでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

保全会の事務的なことを土地改良区にお願いできないかということで、今現在も申請書類の取りまとめ、実績の書類の取りまとめ等、土地改良区にお願いしてやってもらっているところ。それ以上の実際現地に行って作業しているところの写真とか、そういうものは保全会で今現在やっています。各保全会からも作業を簡素化できないかというような話も来ていますけれども、この事業は会検対象であって、証明する書類を取っておく必要があることから、やはり写真とか源泉徴収の書類とか、支払いしたやつとか、そういうものを全部保存して添付してもらっていることが実情です。ただし、今現在補助事業においても保全会と土地改良区との委託契約が可能になってきておりますので、その辺はまた土地改良区のほうにもお願いして、保全会のほうの事務の軽減を図れないかどうか、ちょっとお願いしてみたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 審査の途中ですが、ここで昼食のため休憩します。

休憩 午前11時53分

再開 午後 1時00分

○委員長（佐々木敬藏君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第7号の歳出、5款労働費から7款商工費までの審査を続行します。

伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 120ページの商工費のところですがけれども、食と産業まつり450万とありますけれども、去年の秋は天気がよくて大変にぎやかで盛況だったようですけれども、ところでこの食と産業まつりの目的は何なのか、商工会でやっている目的は何なのか。多分特産品の開発みたいなものを行っているのかなと思っていますけれども、その辺ちょっと伺いたいと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） 食と産業まつりについてお答えいたします。

目的でございますけれども、農商工連携による地域おこしといいたいでしょうか、振興でございます。以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 商工何とか連携云々はよく聞く言葉ですがけれども、それによる地域活性化ということですがけれども、特産品の開発とはまた違うのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） 特産品の開発でございますけれども、農林水産課とかブランドで開発事業がありまして、その開発品についてお披露目という形で産業まつりに展示するというところでやっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 昔からこれに類したものはずっとやっているのですけれども、何か物になっているような特産品でもあるのかどうか、追跡調査しているかどうか、ちょっとお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） まず、今現在売り出していますものについては、にんにく塩こうじ鍋が売出し中といいますか、支援している加工品でございます。あともう一点は、黒にんにく汁なし担々麺、いわゆる駅前の食堂が扱っている部分でございますが、この2点が去年から主として応援している加工品でございます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 昔から何十年もいろいろ特産品開発をやっているのですけれども、あまりにもこれだというような成功事例がないものですから、常に新しいものをやっていますけれども、もう少しやり方を工夫するとか、追跡でとか、継続して援助するとかという形で、コンサルも入れたりしてしっかりとした特産品を、つがる市からの土産であればこれを持っていくのだというようなそういうものがあればいいと思うのですけれども、その点経済部でも少し考え方をちょっと変えてみていただきたいなと思います。

もう一つ、宅配サービス事業補助金835万ありますけれども、この内訳と、それからこのサービス事業で売上げはどのぐらいあるものか。急に聞きましたけれども、ある程度、大体分かっていたら教えていただければと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） 会員の登録者数が873名で加盟店が16店舗、昨年の配達件数が2,477件、無償で宅配するサービスについては550万円ほどの実績になっております。

以上でございます。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 111ページ、上から農地耕作条件改善事業補助金とありますが、午前中質問したように、これは風力発電絡みの1億500万円の中からついているわけで、昨年から見れば1,500万円ほど多い予算になっておりますが、まずこの中身を教えてくださいなと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

昨年度より増額になっているということで、平成31年の当初では100ヘクタール分の補助として予算を計上しておりました。来年度、令和2年度におきましては300ヘクタールを目標に予算を計上しております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） これは2,130万円ほど予算見ていますが、国からの補助内容はどうなっているのか、ここについても説明をお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

国の補助金につきましては、10アール当たり定額で10万円の補助となっていますけれども、これは市を通さず事業主体である土地改良区へ直接補助金が行っております。市で予算を計上しているのは農家負担分、農家負担を軽減するということで市が助成する分について予算を計上しているものでございます。10アール当たり7,000円となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 国からの補助の見通しは、これからもずっとあるのかなのか。これ難しいかもしれませんが、どういう見通しを立てているか、その辺はどう考えておりますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 暗渠排水につきましては事業化になっておりますので、継続してこのまま事業ができるものというふうに考えております。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） なぜこういう質問をするかと申しますと、前も質問しておりますが、米の消費は毎年10万トンぐらい需要の減少があります。そしてまた、つい最近農業新聞を見れば、過去5年間の備蓄米と申しますか、在庫が57万トンと過去最高になって、この5年間で最高になっております。こういうことを考えれば、国でも何としても転作作物の拡大と、こういう方向に持っていくものと私は思っております。そういう中では、本当に転作作物、これは今以上に重要な課題になってくると思いますので、そういうことを考えれば、確かに昨年から見れば1,500万ほど予算増額しているわけですが、これに大変財政も厳しいと、こういう中だと思っておりますが、やっぱり米だけ作っていれば米農家だと、こういう時代も私は終わるのではないかと、そういうことを考えればいち早く暗渠排水事業にもっともっと力を入れてほしいと、こう思いますが、課長、その辺はどう考えているかお答え願います。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

委員おっしゃるとおり、やはりつがる市の米農家においては米だけでは先行き不透明だというか、先細りするというような傾向にあって、暗渠排水というのはこれからの転作作物、高収益作物に向けて転換していくに当たっては非常に大切だという認識でおります。そのためにも暗渠排水事業は進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 昨年から見れば1,500万増額しております。ただ、午前中の質問に風力発電の寄附金、これ20年でしたか、そういうことを考えれば、来年もまたこれ以上の予算措置をお願いして質問とさせていただきます。要望します。

○委員長（佐々木敬藏君） 齊藤委員。

○2番（齊藤 渡君） ページでいきますと124ページになります。海水浴管理費となっております、出来島海水浴場等管理委託料という項目がございます。せんだって東奥日報の夕刊の明鏡欄に出来島海岸のごみの問題が書かれておりました。それに関連するような形になるのですが、単純に海水浴場だけでなく縄文遺跡が世界遺産に登録になりますと、当然埋没林、これも観光資源として非常に着目されてくるのではなかろうかという視点から質問させていただきます。

まず、1点目なのですが、124ページ、一番上段、出来島海水浴場等管理委託料176万1,000円計上されておりますけれども、この管理の範囲、これはあくまでも出来島海水浴場に限られるのか。およそ1.1キロちょっと北側に埋没林がございますので、そこまで含まれるのかお知らせください。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） 出来島海水浴場等管理委託料176万1,000円の内訳でございますけれども、出来島海水浴場の部分と埋没林の駐車場の清掃と埋没林までの林道の草刈り等が含まれております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 齊藤委員。

○2番（齊藤 渡君） そうしますと、そのすぐ下に海岸漂着物清掃委託料320万円計上されておるのですが、この委託先というのはどこで、清掃する範囲というのは今おっしゃったように埋没林まで入るのかどうかお答え願います。

○委員長（佐々木敬藏君） 経済部長。

○経済部長（白戸 登君） 320万円の内訳でございますけれども、委託先については入札で決定されるということになっております。令和元年度は、出来島海水浴場については長内建設、それから車力のマグアビーチについては松仙工業に委託しております。箇所数は、この出来島とマグアビーチの2か所でございます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 齊藤委員。

○2番(齊藤 渡君) ごみの問題が続いたので関連して、ページちょっと前に戻ります。118ページの下から3つ目、4つ目ですか、12委託料の一番最後、漂流ゴミ処理業務委託料とあるのですが、いかげんでしょうか。

○委員長(佐々木敬藏君) 経済部長。

○経済部長(白戸 登君) お答えします。

委員おっしゃるとおりで、海上におけるごみ、浮遊ごみでございますけれども、いわゆる漁師さんたちが拾ってきたごみについての処分費用でございます。

以上です。

○委員長(佐々木敬藏君) 齊藤委員。

○2番(齊藤 渡君) この間ある方からちょっと教えていただいたのですが、漂着したごみ、特に流木に関してはすごく塩分を含んでいるらしくて、稲垣地区にあるようなああいう焼却炉で燃やすと大量の塩素を発生するというふうに聞いて、非常に処理に手間取るということを知っています。特に今は海洋プラスチックなどいろいろ国際問題にもなっておりますし、世界遺産の登録を目指して少しごみには気を使っただけならばと思うところでございます。

ごみの問題は以上で終わるのですが、最後にもう一点だけお知らせ願います。今観光物産協会では定期観光バスツアー、埋没林に観光バスで行っている。コースの中に入っております。本年度の予算書で122ページ中頃に14工事請負費とありまして、ベンセ湿原遊歩道整備工事の予算を240万9,000円盛っておりますけれども、埋没林は今さわやかトイレとかございますけれども、それこそ海岸伝いにずっと見ていくように今後遊歩道などの整備の計画があるかどうか、あるいは市として考えているのかどうか、最後1点お知らせ願います。

○委員長(佐々木敬藏君) 経済部長。

○経済部長(白戸 登君) お答えします。

砂利道の舗装やトイレの改修などを実施したいと考えておりますが、県管理のため、今後協議する必要がございますので、それらを踏まえて進めていきたいと考えております。

○委員長(佐々木敬藏君) 成田博委員。

○7番(成田 博君) ページ数戻って、すみません、105ページの上から3つ目、新規就農者支援事業補助ですが、これ今年は何名分ぐらいで、もう既に申込みがあるのかどうかお聞きいたします。

それともう一つ、その下のほう、就農研修生受入協議会、これはどういう組織、どういう団体なのか、分かればお知らせください。

以上2点。

○委員長(佐々木敬藏君) 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

新規就農者支援事業補助金、これは令和2年度は1名分を見ております。

それと、下の就農研修生受入協議会、これはつがる市内の農業経営士で組織する協議会となっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） 新規就農者1名、大変寂しい限りだとは思いますが、これは窓口があまりにも狭過ぎて、申し込んでもこの事業をなかなか受けられないという話もよく聞いているのですけれども、ちなみに昨年何人ぐらいの申込みがあったものですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） まず、この事業ですけれども、委員おっしゃっているのは農業次世代人材投資事業のことかと思えますけれども、今ここに載っているのは準備型といって、つがる市外の新しい方がつがる市に移住して農業を勉強したいという人に対して、市単独で助成しているものでございます。農業次世代人材投資事業に対しては、令和元年度は6名が該当になっております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） つがる市以外からの就農者ということですが、例えば西北五で既に農業をやっていると、ところがつがる市に来て、つがる市の土地を使って農業をしたいと、そういう人は該当になるものかどうかお知らせください。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 農業次世代人材投資事業につきましては、原則50歳までの方が就農する場合となっております。期間が5年間ということで、就農してから5年以上経過している方に対しては対象外となります。就農して1年目とか2年目であれば、残りの期間該当になるかと思えます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） 分かりました。

次の就農研修生ですけれども、これは外国人も入ってもよろしいのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 今のところは、外国人は想定していなかったと思えます。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） 今朝ほどの新聞でも、全農のほうでもこういう就労に関して窓口、これを説

明会とかいろいろやっているわけなのですけれども、当つがる市においても特に車力地区、畑作、大変就労者だけでなく作業員も高齢化になってきておりまして、人手不足と。一番がメロンのビニールの上げ下げ、これがつらいということで、車力地区は随分メロンの作付が減っています。また、ニンニク、あるいはネギ、ゴボウ、長芋にしても、コンテナに入ると20キロのコンテナ、結構重いということで、作業員、人手不足になっていますけれども、やはりここで外国人の労働者の受入れというのも市でももうちょっと勉強していただいて、進める方向で動いてもらいたいと思うのですけれども、そこはいかがなものでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 委員おっしゃっているのは、農業者でなくて労働力だと思います。労働力のあっせんにつきましては、現在JAつがるにしきたのほうであっせん事業なるものをして、チラシなどを回してやっておりますので、そちらのほうも活用していただきたいと。

あと外国人労働につきましては、やっぱり受入れ団体等、法人格の団体が窓口になって進めるという事業でありますので、そういう団体があって市のほうの助成ができるのか、何か協力ができるのか、その辺はそういう段階になってから、また考えていきたいというふうに思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田委員。

○7番（成田 博君） こういう労働者を受け入れる会社を誘致企業と呼んでくる方法もあるのではないかなど。先ほど来誘致企業の話もありましたけれども、そういう会社が来ることによって、例えば固定資産税が半額免除とか、空き家を貸しますよとか、木村委員が言ったように校舎を利用して会社をやれないとか、そういう誘致企業みたいな来てくれる会社、探せば出てくるのではないかなとも思うのですけれども、まだそこまでは突っ込む予定は考えていないということで理解すればいいですか、それとも今後早めに検討して進めていきたいとか、答弁をお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） そういう会社を誘致すればいいのではないかというようなお話でございますけれども、受入れのあっせんするような会社ですけれども、何もつがる市になくても、ほかのところから外国人の受入れ、書類的なものを整備して、つがる市のほうに派遣すればいいだけですので、ここに誘致とまでは今のところは考えておりません。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 105ページ、農業用プラスチック回収対策事業補助金とありますけれども、これは何人ぐらいの人が補助金を頂いて、それからトン数ですか、キロ数ですか、分かっていたら教えてください。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

廃プラスチックの処理量ですけれども、人数まではちょっと今資料を持っていないのですけれども、量でいきますと31年度の実績で12万1,820キロ、補助金額として97万4,560円となっております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 去年協同開発が受入れをやめたのですよね。青南商事のほうに配った人も多いのですけれども、非常に高齢化している関係もあって、青南商事までは遠くて大変だ、何とかならないかという声がよく聞かれるのです。その辺はどういうふうに考えていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

昨年の9月議会ですか、たしか長谷川委員のほうからもご指摘があって、その後両農協のほうにお願いに行きまして協議してまいりました。その結果、両農協とも組合員の方からも苦情が来ているということで、収集場所を両農協の敷地内で実施すると、令和2年度から実施するというので、この前協議会のほうでも臨時総会開きまして、そういうふうにするということで一応承認されております。

やり方としては、つがるにしきた農協が2回、稲刈り前と稲刈り後、ごしょつがる農協が稲刈り前と稲刈り後と11月ごろの3回、つがるにしきた農協については元の越水支店の後ろの倉庫の辺り、ごしょつがるについては木造総合支所のところで実施するというので、市のほうでも市の広報の5月号なりに掲載して農家の方には周知したいと。やり方としては、農協の集積だけでなく、従来どおり青南商事に直接持っていても処理できますよと、それについては今までどおりキロ当たり8円の助成をしますと。ただし、農協の集積場所へ持っていった場合については農家への負担はなしにして、その分を農協の事務手数料として農協に払うということで進めたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 去年青南商事までのキロ数が遠かったせいもあると思うのですけれども、軽トラから落ちた廃プラが道路に散乱していたり、また不法投棄も随分見られました。農協さんでまとめてやってくださるということで、それを農家の人はとても期待して待っています。早いところだと7月、8月になって、早い野菜とかメロンの収穫が終わると廃プラの処理に歩くわけなのです。でも、今課長おっしゃってくださった農協さんとの対応のこと、これを徹底してもらったら不法投棄も少なくなると思いますし、ともかく農家の人はとても喜ぶと思いますし、期待しておりますので、ぜひよろしくお願ひします。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木直光委員。

○13番（佐々木直光君） 107ページの【7】、機構集積協力金等交付事業で盛っています。ずっと継続してきて去年かなり減額になりまして、今年もいつもの予算から見ればかなり少ない額になったわけです。これは、例えば去年あたりの実績で、機構を利用しないで普通の売買なり貸借借なりの

実績といいたいでしょうか、それはそれほど変わっていないものか、それとも全体的につがる市の農地の賃貸借あるいは売買が減っているのか、その辺ちょっと伺いたと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えいたします。

中間管理事業以外の賃貸借が減っているのかどうかということですが、うちのほうで農業委員会のデータまで持っていませんので、農業委員会のほうで分かっていたらそこを答弁願いたいと。管理事業については、前から見ればちょっと件数は少なくなっているような傾向にあります。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（吉田真也君） 佐々木委員にお答えします。

農業委員会を通してのあっせん売買に関しては、令和元年118件です。そのうち、あおり農林業支援センター、公社売買が36件です。賃貸借については、令和元年327件となっております。

以上で説明を終わります。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） 機構を通したというのがまだちょっと。すみません、私の聞き方が悪かったのかも……。

○委員長（佐々木敬藏君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（吉田真也君） 中間管理機構を通しての賃貸借については、ちょっと今件数、私のほうでは分かっておりませんので。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） 別な質問に移らせてもらいます。110ページです。14の工事請負費、ここに今年から新しくできるスマート農業基地局設置工事です。これはたしか稲垣に1か所できるということですが、これについては私たちの理想としてはつがる市の農地全てで使えるような基地局を造ってもらいたいという思いがあるのですけれども、これは例えば何年間で建設するのだとか、そういう計画的なことは考えていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

今回のスマート農業の基地局設置工事につきましては、委員おっしゃるとおり稲垣地区に1基と。なぜ稲垣地区かといいますと、稲垣の農家が農地耕作条件改善事業を使ってスマート農業用のトラクターを導入すると。農業機械については補助事業の対象であるけれども、基地局については補助対象外ですということで、それではその分は市のほうで1本立てまじょうと、モデル地区として立てまじょうと。その後基地局も補助対象になるということで通知がありましたので、来年度以降その補助事業のほうにも申請しながら、1本で大体半径5キロをカバーすることになっておりますの

で、つがる市において5キロ置きに立てればいいのか、そこはちょっとこれから場所なりを検討していきますけれども、早い段階においてつがる市全体をカバーできるようにしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（佐々木敬藏君） 佐々木委員。

○13番（佐々木直光君） 関連して、これは今のGPSについている自動化の農作業機といいたいでしょうか、そういうふうになるのだと思います。せっかく基地局を立てても使う人があまりいないのだと、そうなれば非常に無駄な事業になってしまいますので、やはりこれに対応した農機具等の購入には特別手厚い補助なりしてもらいたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） お答えします。

スマート農業関連の農業機械につきましては、国の補助事業でも優先枠を設けるなど手厚くしているところです。ただ、委員おっしゃるとおり、普及を図るためには市のほうの助成なり、かさ上げなども必要ではないかということでもありますので、今後財政部局とも協議しながら、可能な限り助成していきたいというふうに考えております。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、5款から7款まで質疑を終わります。

8款土木費から9款消費費まで質疑を行います。124ページから149ページまでとなります。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 146ページ、公衆トイレの清掃業務委託料とありますが、この公衆トイレは、場所はどこのトイレですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） ここの委託事業に関しては、有楽町のトイレの委託料です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 有楽町の公衆トイレ、時間によって使えないので、これを改善してほしいと去年何回かお願いしたと思うのですが、相変わらず時間が決められて使えないときがありますよね。これどうなっていますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） 昨年の5月から11月まで24時間体制でやっていたとして、11月から5月までは7時に閉めております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） たしか24時間体制で対応してくださるというふうに私は理解したのですが、この間行ったときもやっぱり貼り紙がして、24時間は使えなかったのです。冬場だからこ

ういうふうになっているのかなと思ったのですけれども、その辺把握していますか。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） 冬場ですので、11月頃から5月まで24時間ではなく7時までということにしております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） これ冬場使えないのは何か理由があるのですか、例えば水が流れないとかなんとかというのであれば少しは理解できるけれども。とにかく貼り紙がしてあるのです。24時間使えないのです。確認してください。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） それは11月から5月までは7時までということで、皆さんにお知らせするために貼り紙はしております。これから1年間を通してできるか、ちょっと検討はしたいと思いません。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 私とちょっとあれなのだけれども、私は去年ともかく1年いっぱい、365日、あそこの公衆トイレは24時間使えるものだというふうに思っていたのです。1週間ぐらい前に行ったときは、やっぱり時間によって使えないという貼り紙が、多分今日もしてあると思うのですけれども、ともかく365日対応してもらえるものだと思っていたのが対応してもらえないということで、そどうなっているかということを知っているのです。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） これから24時間対応できるか、ちょっと検討したいと思います。よろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 中心部にたった一つよりない公衆トイレなので、対応していただきたいのです。あそこが閉まっていたら行くところがないということで、近くのコンビニに行くわけです。コンビニさんはお客さんだからということで嫌な顔はしないと思いますけれども、行く側としては買物をしなければお店のトイレを使えない、申し訳ないという、そういう後ろめたいような気持ちでコンビニのトイレを使っているわけなのです。それでせっかく市にあるトイレなので、ぜひ24時間対応ということで、昨年から対応してもらっているものだと私は思っていたのですけれども、何かの事情で対応していないということで、でも今の答弁を聞いたらやっってくださいということなので、ぜひやってほしいと思います。よろしくお願いたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 成田博委員。

○7番（成田 博君） 消防長にお伺いたします。

観閲式、いつも寒いのですけれども、私見していると団員の人たちも防寒具も着ないで普通の上で、中にホッカイロ貼ったり長袖の下着を着たりとか、すごく寒そうに見えるのですけれども、何か防寒具なるものを消防団員に配付とか、そういうのは検討できないでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 消防長。

○消防長（山崎和人君） 成田委員おっしゃっているのは、観閲式は6月なのですけれども。

〔「出初め式」と言う人あり〕

○消防長（山崎和人君） 出初め式でよろしいですか。出初め式に関しては1月の最初、本当に寒い時期で、団員の方にはご迷惑をおかけしましたけれども、団員からの要望がもしあれば、これから検討していきたいとは思っています。

以上でございます。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないということでございますので、8款から9款まで質疑を終わります。

最後に、10款教育費から12款予備費まで質疑を行います。149ページから192ページまでとなります。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 教育委員会にお伺いします。

今コロナウイルスの対応で教育現場は大変だと思いますけれども、何かコロナウイルスのことで教育現場で困っているようなことはありませんか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育部長。

○教育部長（坂本潤一君） 私どもの教育現場のほうをご心配してのご質問、誠にありがとうございます。今一番恐れておりますところは、つがる市といったほうに限らずといえますか、県内に入ってきた場合、感染者が出た場合でございますけれども、そちらとなりますとまたもうちょっと強化したような考えも必要になろうかとは思いますが、今のところほかで言われているように児童生徒が大型商業施設等々に出歩いているようなこともあまり聞かれておりませんので、今のところは、もし出たとすると、また対応を考えていくということで考えておりました。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 何でもかんでも縮小で大変ですよ。昨日は幼稚園の卒園式、来賓お断り、また小学校、中学校の卒業式も来賓お断りということで、子供たちがとてもかわいそうというか、気の毒だなと思っています。マスコミの報道によりますと、学童保育の対応なんかもなかなか大変だというふうに伺っていますけれども、ここ1週間か2週間が山だそうですので、それを乗り切って子供たち、つがる市の子供たちには特に何事もないように教育現場の皆さん頑張ってくださいよ

うによろしくお願ひします。ご苦勞さまです。

○委員長（佐々木敬藏君）　ここで休憩といたします。

休憩　午後　1時47分

再開　午後　2時00分

○委員長（佐々木敬藏君）　休憩前に引き続き會議を再開します。

先ほど13番、佐々木直光委員の中間管理機構を通しての貸貸借の件数に関する質問に対し、答弁の申出がございましたので、答弁を許可します。

農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（吉田真也君）　先ほどの佐々木委員の質問にお答えします。

令和元年度、中間管理機構を通しての貸貸借の件数は44件で、面積にして22ヘクタールです。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君）　佐々木委員、よろしいですか。

○13番（佐々木直光君）　本当に割と少ないなど、多分これに関しての補助金も出ていると思うのですが、ただ私も農家ですので、何かやっぱり事務的な面での煩わしさがあるのかなと思ったりもします。確かに政府の方針としては農地を集積するためにつくって、助成金を出してというのは分かるのですが、その辺1つは私たちの理解不足、あるいは市役所での周知徹底みたいなのが、そこは両方なのかもしれませんが、私自身ももう少し何か改善方法がないのかなと考えておりますけれども、その辺農業委員会のほうでもし考えていることがあれば。機構そのものは国の政策ですので、簡単に変えるというわけにはいきませんが、その辺もし考えていることがあればお願ひしたいと思ひます。

○委員長（佐々木敬藏君）　農業委員会会長。

○農業委員会会長（山本康樹君）　全国的に中間管理機構を通しての貸貸借、一応80%を目指しているわけであります。今現在は、本県においても全国的にも55%前後、ただ本市においての集積率は85%いっています。そういうことで、あと15%あるといえはあるわけですが、私どものつがる市においてはもう基準をクリアしていると、そういうことで担い手のほうに集積は、なっていることはなっているのです。ただ、管理機構のほうでは貸貸借の再延長する場合は、今度は同じ人に貸しても機構を通してくださいと、今それができるようになりましたので、私どものほうでも再延長の申出があった場合は管理機構を通してやってくれませんか、そういうふうにはお願ひしているところであります。

以上であります。

○委員長（佐々木敬藏君）　佐々木委員、よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） それでは、会議を続行します。

議案第7号の歳出、10款教育費から12款予備費までの審査を続行します。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 183ページ、旧制木造中学校講堂費とありますけれども、ここから見て、随分できたなと思っております。去年私は、しゃこちゃん温泉のところに入っていく入り口がちょっと狭いのではないかということをお願いしました。でも、街灯が2つ立っているのですけれども。この間路線バスのドライバーさんに伺ったのです、路線バスもそこを入れてしゃこちゃん温泉の入り口まで運行されているもので。もう少し広ければ、通って通れないことはないけれども、対向車などが来るとやっぱり狭い、あと1メートルぐらい2つの街灯が広ければいいなというふうにおっしゃってました。お願いしたのに聞いてもらえなかったのかなと思って、ちょっと残念です。それどうでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育部長。

○教育部長（坂本潤一君） 確かに以前ご質問いただきまして、私のほうでも気には留めてございました。いろいろ考えたりもしたのですけれども、結果的にはちょっと様子を見ようということと考えてございます。注意喚起の看板を用意するとか、ラインを引くとか、また今委員おっしゃられたように入り口広げるとなると、ちょっと工事費とかも関係するものでございますので、そこら辺で考えてはおります。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 事故があってからでは遅いので、土地もあるのですよね。広げようと思えば広げることできると思うので、これはやっぱりやってほしいと思います。

それから、ここには出てきていないのですけれども、議案第30号につがる市景観条例というのが今回出ているのですけれども、私こうして見ると、お隣の松の館とこのできた講堂の色が何か合わないのではないかな、その人の好みによるのかなと思ってはいますけれども、なおさら今の講堂を引き立てるといふのであれば松の館とあまりにも色が合わないのではないかなと思うのですが、市長、どう思いますか。これ市長の好みですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 福島市長。

○市長（福島弘芳君） 私が在籍していた頃はこの色でした。やはりつがる市の重要文化財ですので、隣の色に合わせるとか、そういうのもまたちょっと難があると思います。これでいいと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 反対に松の館の色を今の講堂の色に合わせてもいいのではないかなと、そのほうが景観的にいいのではないかなと思うのです。これ好みで、市長が好みだと言えばそれはしようがないけれども、私はバランス的にちょっと合わないなと思って、せっかくのあれがもったいないなと思って。私の好みばかりではなくて、友達なんかも大抵私と同じような意見なのです。ご

検討してもらってもいいかなと思いますが、副市長、どう思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 副市長。

○副市長（倉光弘昭君） 市指定文化財の復元ですので、この形になるまで、形は変わっていないのですけれども、色とか材質になるまでの前の前、当初造られた図面で、こういう色のものであったということで文化財の審議会のほうでは元の色に戻すのだと、あるべき姿の建物を復元するのだということで、市長の好みであるとかそういう個人の好みの色には変えられないということで、中にある部材もできた当時のものに近づけているとか、そういう感じでやっていますので。ただ、逆に今の講堂の色に松の館を合わせる、それはいかようにもできると思いますけれども、あとはお金のかかることですので。ただ、今できているのが洗い出し、いわゆるコンクリート、モルタル、これがもう少し乾いてくればもっと風情のある色合いになってくると、1か月後、2か月後、さらにもっといい色になってくると思っていますけれども、このままでいくしかないのではないかと考えています。外構もちゃんとできて光も当てれば、もっとよく見えると思いますけれども、中はかなりいいので。何か表は思わしくないという考えですよね。ですが、造った当初もこういう形の色ということでご理解いただければと思います。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 今造った講堂の色を直せとは言っていないのです。復元ですから、昔のままの形でということだと思のですが、それにしても松の館とは白と黒というような感じで、合わないのではないかなという市民の声もありますので、検討する時期が来たらよろしく願いします。いいです。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 191ページ、下段のほうに総合体育館建設費とあって、委託料あるわけですが、私の記憶が間違いでなければ、基本設計は6月に仕上がるということで大丈夫ですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育部長。

○教育部長（坂本潤一君） 多分実施設計のこと、6月までの……細かい設計のほうということでございますよね。こちらのほうは、工事開始などにも影響が出ると私どもも大変困るという事情もございまして、6月ということで進捗させております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 木村委員。

○8番（木村良博君） 出来上がる前に議会のほうにも何回か説明と申しますか、意見、そういう機会は与えてもらうことはできるのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育部長。

○教育部長（坂本潤一君） もちろん大きい事業でございまして、そういった積算額等々含めまして、ご説明できる内容が整いましたらご説明申し上げたいというふうには考えております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 150ページ台から170ページ台に小学校、中学校、学校教育関係予算が載っていますけれども、教育長に。12月の末に学力の発表があったもので、議会に間に合わなかったので、今手短かに学力状況を教えていただきたいと思います。小中の発表あったと思うのですけれども。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育長。

○教育長（葛西嶮輔君） 4月に全国学力・学習状況調査を行っております。これは小学校6年生、中学校3年生なわけで、小学校は国語と算数、それから中学校は国、数、英語、3教科でございます。その結果を見ますと、国語の全国のトップは秋田県なわけですけれども、秋田県と同じ結果でございます。それから、算数の場合ですけれども、算数の全国のトップは石川県なわけですけれども、石川県と同じであったと。そういうことで、国語と算数は非常に高い水準であったということでございます。

中学校ですけれども、中学校は3教科とも全国及び青森県と同水準というような結果でございました。

それから、8月に行われた青森県学習状況調査の結果を見ますと、これは小学校5年生対象、4教科でございます。それから、中学校は2年生対象で5教科ということなわけですけれども、小学校の場合は県内トップクラスで非常に安定していると。今回びっくりしたのは中学校の結果なのですけれども、中学校は総合で県内でトップということでびっくりしているわけですけれども、特に英語は6ポイントほど差がありまして、県内トップと。それから、国語も県内トップと、それから社会は2位ですか、そういうことで学習状況調査の結果から見ると非常によい結果だったかなと思っております。

まとめて言えば、近年は小学校の場合は県内トップクラスを維持していると、中学校の場合は学力がだんだん向上してきているということが見られます。特に中学校の場合、英語は大分頑張っている姿が見られます。

以上、簡単ですが、学力の状況ということでございます。

○委員長（佐々木敬藏君） 伊藤委員。

○16番（伊藤良二君） 大変すばらしい学業で、教育委員会に感謝いたします。大きい市でこんなに伸びるということは普通はあり得ないのですけれども、トップクラスを維持して、特に英語がいいということで、受験が一番英語で苦しみますので、私はありがたいなと思って、自分の昔をあれして感謝申し上げます。

次に、184ページですけれども、ここに総合体育館運営検討委員会委員報酬26万とありますけれども、これを立ち上げて運営のことを協議していくのだと思いますけれども、会議して話し合われたこと、そういうことをちゃんと記録に残して、簡単でいいので、最低限のメモ書き程度でいいので、

報告書をちゃんと作っていただきたいと思うのです。そこで話し合われていても、私どもが行くと何も報告書を作っていないので報告できないような状況が多々ありましたので、ちゃんと委員会をやったら、特に巨額なお金を使う体育館ですので、どういうことが話し合われて、これからどういふふうにやっていくのだということをここで話し合った、その記憶をちゃんと残していただきたいと思うのですけれども。また、議員にも報告いただきたいし、この委員を選ぶときに、できれば二、三人議員も選んでほしいと思います。予算が足りなければ少し補正すればいいので。その議員の皆さんを通して私ども聞けば、それはこういうふうな話ししたのですよ、会議になっていましたとかと同僚の議員からも聞けますので、そういうことを検討していただきたいと思うのですけれども。

答弁。

○委員長（佐々木敬藏君） 教育部長。

○教育部長（坂本潤一君） 今の検討委員会の報告ですけれども、そちらについてはそのように。

あわせて、複数の議員さんの参加もということでございますけれども、そちらのほうも一応そのような方向で私どもも考えてございました。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、10款から12款まで質疑を終わります。

以上で議案第7号の質疑を終わります。

◎散会の宣告

○委員長（佐々木敬藏君） 審査の途中ですが、本日の会議はここまでとします。

明日は午前10時に会議を再開して、引き続き審査します。

本日はこれにて散会します。

（午後 2時20分）

第 3 号

令和 2 年 3 月 1 0 日 (火曜日)

令和2年第1回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第3号）

令和2年3月10日（火曜日）午前10時00分開議

1 開議宣告

1 議事日程

議案第8号 令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算案

議案第9号 令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算案

議案第10号 令和2年度つがる市介護保険特別会計予算案

議案第11号 令和2年度つがる市下水道事業会計予算案

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（16名）

2番	齊藤 渡	3番	田中 透	4番	小笠原 忍
5番	佐々木 敬藏	6番	長谷川 榮子	7番	成田 博
8番	木村 良博	9番	佐藤 孝志	10番	野呂 司
11番	天坂 昭市	13番	佐々木 直光	14番	佐々木 慶和
15番	平川 豊	16番	伊藤 良二	17番	山本 清秋
18番	高橋 作藏				

欠席委員（2名）

1番	秋田谷 建幸	12番	成田 克子
----	--------	-----	-------

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 岷 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
監 査 委 員	長谷川 勝 則
農業委員会会長職務代理者	乳 井 春 光
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	台丸谷 績
民 生 部 長	稲 場 慎 也
福 祉 部 長	長 内 信 行
経 済 部 長	白 戸 登
建 設 部 長	三 浦 貴 彦
会 計 管 理 者	佐 藤 廣 文
教 育 部 長	坂 本 潤 一
消 防 長	山 崎 和 人
選挙管理委員会事務局長	三 上 雅 弘
農業委員会事務局長	吉 田 真 也
監査委員事務局長	木津谷 昭 弘
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	川 村 博 文
福 祉 課 長	嶋 昂
農林水産課長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	鳴 海 義 仁
消防本部総務課長	山 崎 義 信

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事 務 局 次 長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

◎開議宣告

○委員長（佐々木敬藏君） おはようございます。ただいまの出席委員数は16名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎議案第8号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 昨日に引き続き審査を再開します。

議案第8号 令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算案を議題とします。

説明を求めます。

民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 皆さん、おはようございます。それでは、209ページをお開き願います。議案第8号 令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算案について、主なる項目を説明いたします。

令和2年度つがる市国民健康保険特別会計予算の歳入歳出予算の総額は、それぞれ40億9,735万1,000円と定めるものであり、前年度比当初予算に比べ1%減の4,196万1,000円の減額となっております。

それでは、歳出からご説明いたします。222ページをお開き願います。第2款保険給付費でございますが、前年度比1,542万2,000円減額の26億615万6,000円を計上しております。保険給付費は、療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児諸費、葬祭諸費から成り、減額の主な要因は被保険者の減少と出生数の減に伴う出産育児一時金の減額でございます。

次に、224ページをお開き願います。第3款国民健康保険事業費納付金で前年度比4,139万円減額の12億4,899万9,000円を計上しております。主な減額の要因でございますが、納付費は国から指示された推計方法で被保険者数、世帯数などにより積算されるもので、県から示された仮算定において減額となったものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。215ページへお戻り願います。第1款国民健康保険税、前年度比4,717万5,000円減額の9億4,287万3,000円を計上しております。主な要因は、若年層の人口減少や他の健康保険への加入、そして後期高齢者への移行等、被保険者の減少によるものでございます。

次に、216ページをお開き願います。第4款県支出金で前年度比2,300万9,000円増の26億7,403万4,000円を計上しております。これは、歳出における保険給付費の増額に伴うものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

歳入歳出全般について質疑を行います。

長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） おはようございます。まず223ページ、一番下の出産育児一時金、去年は何人のお子さんが対象になったのでしょうか、まず教えてください。

○委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 昨年度、30年度は26件でございました。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） これ、市全体で生まれた子供が26人ということなのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 国民健康保険に加入している方の子供の出生数でございます。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 一般質問で死亡届がどのくらいあるか伺って、年間560人くらいということで、これと比較するといかに亡くなっている人が多いかというのが分かるので。比較すると200万ちょっと少なくなっていますけれども、今年はこれよりももっと少ないというふうに見ているわけなのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 令和2年度の当初では、過去3年の実績の平均ということで25件を見たところでは。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 本当に何とかならないものかしら。やっぱり結婚してもらって子供さんを産んでほしいと思います。このところはそれでいいです。

委員長、もう一件いいですか。

○委員長（佐々木敬藏君） はい、どうぞ。

○6番（長谷川榮子君） 227ページ、一番上の脳ドック委託料とありますけれども、去年は脳ドック、どのくらいの方が受診されているのですか。

○委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） 去年……今年の実績、令和元年度から始まった事業なのですが、今年当初300人の予定でしたが、630名ほど申込みありまして、その中で二十数名がキャンセルしたということで610名ほど実施しております。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） たしか弘前と総合病院と青森の3か所で受診できるというふうに伺っていますけれども、この3か所で一番多いところはどこでしょうか。

○委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。

- 民生部長（稲場慎也君） つがる総合病院、木村脳神経クリニック、弘前の中野脳神経外科と3か所なのですけれども、木村脳神経クリニックが一番多いところでございます。
- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） その3か所の病院の中で受診料がそれぞれ違うというふうに伺っているのですけれども、その違いというのは何でしょうか。
- 委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。
- 民生部長（稲場慎也君） 3か所の受診料が違うということで、つがる総合病院が1万8,360円、中野脳神経外科、木村脳神経クリニックが共に2万3,000円とこちらは同じなのですけれども、その違いはやはり病院の検査体制とえばいいか、病院の関係で違ってくるのだと思っております。
- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） 私は、また医療器具とかそういう差で料金の差が出るのかなと思っているのですけれども、それぞれの病院の対応ということであれば致し方ないのかなとも思うのですが、この料金統一というわけにはいかないものなのでしょうか。
- 委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。
- 民生部長（稲場慎也君） 先ほどの答弁で料金がなぜ違うのかということで追加いたします。
検査項目が若干多いと、弘前、青森が多いということで2万3,000円。ちなみに、料金なのですけれども、新年度の料金についてはこれから病院のほうと話をしながら決定していくわけですが、ちょっと話が聞こえてきたところによりますと、つがる総合病院の1万八千幾らではちょっと安過ぎてやっていけないような話も出ておりますが、今後これから新年度に向けて3医療機関と料金のほうは詰めていきたいというふうに、できれば統一すれば一番いいのですけれども、その辺も含めてお話ししていきたいというふうに思います。
- 委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。
- 6番（長谷川榮子君） 若干高くても、丁寧に検査してもらえるのであれば受診する人は納得だと思います。弘前や青森が遠いので、できれば総合病院で対応していただきたいと思うのですけれども、なかなか評判のいい取組で、私の友達にもちょっと脳卒中の疑いがある人がいて、ぜひ脳ドックを受診したほうがいいよ、早めに申込みしたほうがいいよと勧めたら、もう今年は駄目だというふうに断られたのだそうです。去年1年目でこんなに受診する人があるわけで、これはますます希望者が多いと思いますので、できるだけ受診したいという希望の人を受け入れてほしいと思いますので、よろしくをお願いします。
- 委員長（佐々木敬藏君） 民生部長。
- 民生部長（稲場慎也君） 新年度の予定なのですけれども、一応4月中旬から6月末まで受け付けする予定です。ただ、受付期間内に約600名ほどの予算を見ているわけなのですけれども、いっぱいになった場合は予算を増やして対応していきたいと思っておりますので、できる限り市民の方にも

多く受診していただきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（佐々木敬藏君） 長谷川委員。

○6番（長谷川榮子君） 脳卒中の人を防ぐ意味でも、ぜひそういうふうを増やしていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。答弁いいです。

○委員長（佐々木敬藏君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第8号の質疑を終わります。

◎議案第9号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第9号 令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算案を議題とします。

説明を求めます。

民生部長。

○民生部長（稲場慎也君） それでは、239ページをお開き願います。議案第9号 令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算案について、主な項目についてご説明いたします。

令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算の総額は、それぞれ7億9,196万8,000円と定めるものでございます。前年度当初と比較して約10.18%増の7,317万9,000円の増額となっております。

それでは、歳出の主なる項目を説明いたします。247ページをお開き願います。第1款総務費は、前年度比1,213万6,000円を減額し、3億7,657万4,000円を計上しております。これは、中段の18節負担金補助及び交付金で広域連合へ納付する負担金の減額が主な要因でございます。

次に、248ページをお開き願います。中段でございます。第2款後期高齢者医療広域連合納付金で前年度比8,213万9,000円の増額で3億9,594万6,000円を計上しております。これは、保険料の改定により保険料収入の増によることが主な要因でございます。

次に、第3款保健事業費では前年度比317万6,000円増の1,864万7,000円を計上しております。これは、次のページ上段、12節委託料で特定健診、歯科健診及び脳ドック助成事業の事業を拡充したことが主な要因でございます。

続きまして、歳入についてご説明いたします。245ページにお戻り願います。第1款後期高齢者医療保険料は、前年度比6,326万円増の2億5,051万7,000円を計上しております。これは、歳出でもご説明いたしました保険料の改定により保険料収入の増によることが主な要因でございます。

次に、下段でございます第5款諸収入は、前年度比242万7,000円増額の2,196万5,000円を計上しております。これは、特定健康診査等受託料において本年度実施する見込数の増加によることが主

な要因でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

歳入歳出全般について質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第9号の質疑を終わります。

◎議案第10号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第10号 令和2年度つがる市介護保険特別会計予算案を議題とします。

説明を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（長内信行君） それでは、259ページをお開き願います。議案第10号 令和2年度つがる市介護保険特別会計予算案をご説明いたします。

予算の総額は、歳入歳出それぞれ46億3,563万2,000円とするものでございます。

本予算は、前年度に対し4,526万6,000円の増額となっており、率にして1%の増です。

歳出から主なものについてご説明いたします。269ページをお開き願います。1款総務費の一般管理費です。前年度比で416万8,000円の増額となっております。増額の要因としては、令和3年度から始まります第8期介護保険事業計画を策定するための費用です。委員の報酬44万5,000円、委託料の中の介護保険事業計画策定業務委託料313万5,000円、その他費用弁償などを含めまして368万1,000円を見込んでおります。

続いて、271ページをお開き願います。2款保険給付費です。42億9,268万6,000円で、前年度比で3,968万6,000円の増です。例年申し上げてございますが、保険給付費につきましては高齢者人口の上昇と相まって年々増加傾向にあります。また、各給付費についてはそれぞれこれまでの実績を基に積算しておりますが、特に2款1項3目の施設介護サービス給付費について前年度比3,729万6,000円の増額、そして274ページをお開き願います。上段の2款6項1目の特定入所者介護サービス費、これは施設入所者のうち低所得者に対する軽減分を支給するもので、前年度比440万6,000円の増額の見積りをしております。

次に、下段の4款地域支援事業費のうち、1項1目介護予防・生活支援サービス事業費は、前年度比382万5,000円の増額で1億5,610万円としております。275ページの右側説明の中のサービス事業費1億3,227万6,000円が大きく、これは要支援1から2の比較的軽度の方の訪問型、通所型のサービスに係る費用で、実績を基に増額の積算をしております。

以上が歳出の主なものでございます。

次に、歳入の主なものについてご説明いたします。265ページにお戻り願います。1款1項1目の第1号被保険者保険料は、前年度に対し5,437万6,000円の減額となっております。これは、昨年10月からの消費税改正に伴い、低所得者の保険料について軽減が拡充されたことによるものです。

3款の国庫支出金は、前年度比4,176万9,000円の増額、次の266ページをお開き願います。4款の支払基金交付金は前年度比1,176万4,000円の増額、5款の県支出金は前年度比676万7,000円の増額となっております。これらは、主に歳出の保険給付費及び地域支援事業に対する負担金や補助金となっております。歳出の伸びと相まって増額計上しております。

次に、267ページの7款繰入金のうち、5目低所得者保険料軽減繰入金は、前年度比3,466万8,000円の増で5,045万6,000円となっております。これは、1款保険料においてもご説明しましたが、消費税の改正による低所得者の負担を軽減するため、一般会計からの繰入金が増となったものです。この財源としましては、国が2分の1、県が4分の1でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしく願います。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

歳入歳出全般について質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第10号の質疑を終わります。

◎議案第11号の説明、質疑

○委員長（佐々木敬藏君） 議案第11号 令和2年度つがる市下水道事業会計予算案を議題とします。説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（三浦貴彦君） それでは、議案第11号 令和2年度つがる市下水道事業会計予算案についてご説明申し上げます。

令和2年度の下水道事業会計は、地方公営企業法適用のため発生主義の予算となっており、公共下水道事業、そして農業集落排水事業及び浄化槽設置事業を含めたものでございます。

287ページをお開きください。令和2年度は、柴田地区、蓮川地区の管渠布設工事等2億2,801万4,000円及び処理場施設の更新1,465万5,000円を行う予定としております。

予算第3条、収益的収入及び支出と予算第4条、資本的収入及び支出については、下水道事業会計予算に関する説明書でご説明申し上げます。291ページをお開きください。収益的収入及び支出の予定額は、収入、支出ともに11億3,753万8,000円とし、収支均衡予算としております。

収入では、営業収益として使用料2億2,888万8,000円を含めた2億3,315万5,000円を計上しております。営業外収益として他会計補助金5億8,639万9,000円を含めた9億438万3,000円を計上しております。

次に、支出でございます。292ページをお開きください。営業費用として9億8,042万8,000円を計上しております。内訳といたしまして、管路及び処理場の運転費用及び維持管理としてそれぞれ2,912万6,000円及び1億7,703万4,000円を計上しております。総係費として人件費及び事務費、雨水路のしゅんせつ、除草や浄化槽設置事業等に8,186万5,000円を計上、減価償却費として6億9,240万3,000円を計上しております。営業外費用として、企業債利息等1億3,183万7,000円を含む1億4,052万円を計上しております。

続きまして、資本的収入及び支出でございます。294ページをお開きください。支出から説明いたします。建設改良のうち、管渠分として柴田地区及び蓮川地区の管路及び中継ポンプ設置工事1億8,014万2,000円及び桑野木田地区中継ポンプ場機能強化として1,640万円を計上しております。処理場分として1,465万5,000円を計上しております。また、企業債の元金償還金として7億2,005万7,000円を計上し、合わせて9億6,272万6,000円を計上しております。

次に、収入でございます。293ページにお戻りください。建設改良事業の財源として、国県補助金9,923万9,000円を計上しております。また、建設改良分1億8,800万円を含む企業債3億4,360万円等を計上し、合わせて5億7,018万1,000円を計上しております。

次に、288ページをお開きください。予算第4条、括弧書き、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3億9,254万5,000円は、損益勘定留保資金等により補填するものでございます。

最後に、予算第4条の2では、地方公営企業法適用に伴い、3月31日で打切決算となることから、見込まれる未収金及び未払い金の額を計上しております。

以上、下水道事業会計予算案について説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（佐々木敬藏君） 説明が終わりました。

歳入歳出全般について質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、議案第11号の質疑を終わります。

以上で本委員会に付託された議案の質疑を終結します。

◎議案第1号～議案第11号の討論、採決

○委員長（佐々木敬藏君） これより一括して討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ないようですので、討論を終結します。

これより一括して採決します。

議案第1号から議案第11号までの11件は原案どおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ご異議なしと認め、ただいまの11件はいずれも原案どおり可決することに決定しました。

以上で本委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

お諮りします。本委員会の審査経過と結果報告については、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（佐々木敬藏君） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

◎閉会の宣告

○委員長（佐々木敬藏君） 以上で本委員会の日程は全て終了しました。

審査に際して、皆様のご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

これで予算特別委員会を閉会します。お疲れさまでした。

（午前10時32分）

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長 佐々木 敬 藏